



平成22年7月9日
内閣府沖縄振興局

沖縄科学技術大学院大学の学長予定者の決定について
[内閣府特命担当大臣談話]

標記について、前原内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）より、別紙のとおりコメントが出されましたので、お知らせいたします。

なお、沖縄科学技術大学院大学学長予定者の決定の詳細については、本日（9日）13時より、（独）沖縄科学技術研究基盤整備機構のホームページ（<http://www.oist.jp/ja.html>）において掲載いたします。

【本件問い合わせ先】	内閣府沖縄振興局 新大学院大学企画推進室次長 中村
	電話（直通）03-3581-9974
	F A X 03-3581-0952

沖縄科学技術大学院大学の学長予定者の決定について
[内閣府特命担当大臣談話]

平成22年7月9日

スタンフォード大学線形加速器センター（SLAC）名誉所長・教授のジョナサン・ドーファン博士が沖縄科学技術大学院大学の学長予定者として決定されたことが、本日、設立委員会合の有馬・ヴィーゼル共同議長によって発表されました。

ドーファン博士は、私もお会いしたことがありますが、世界最高水準の基礎研究の拠点であるSLACの所長を務められ、実験を通じて、2008年にノーベル物理学賞を受賞された益川敏英・小林誠両博士の理論の実証を主導されるなど、科学技術の発展において顕著な功績を挙げられました。

また、組織マネジメントにおいても、将来ビジョンの提示や研究者の採用、研究環境の構築といった点で高い評価を受けており、日本の研究者も含め、世界的なネットワークを持っておられます。

さらに、私がお会いした際には、大学は地域社会に貢献し、共に発展していかなければならないと述べられたことが印象に残っています。

沖縄は歴史面でも地理面でもアジアの結節点となる潜在能力を秘めています。この大学院大学は、こうした沖縄の自立的発展や世界の科学技術の発展を目的として推進されてきた重要な国家プロジェクトです。

私は、この大学院大学が、世界最高水準のものとなり、また、そのような大学院大学が沖縄にあることが沖縄県民の自信と誇りとなるよう支援していきたいと考えています。さらには、沖縄に住む子ども達が、この大学院大学を目指して勉強し、この大学院大学で学ぶことで、沖縄から優秀な人材がさらに多く生まれるよう期待しています。

ドーファン博士が大学院大学の学長予定者として決定されたことは、このプロジェクトにとって大きな一歩です。政府としては、引き続き、世界最高水準の大学院大学の実現に向けて、確固たる支援を行ってまいります。

内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）
前原 誠司